

平成 26 年度 大学院アンケートの結果について

【回収率】

平成 26 年度実施の大学院アンケート回収率は工学研究科 73.8% (31 人回答/42 人中)、ライフデザイン研究科 0% (0 人/5 人中) である。

この大学院アンケートの実施目的は、学生の声を広く集め、今後の教育や環境の改善につなげていくことにあることから、回収率を高める方策を検討する必要がある。

【設問 1～設問 10】

選択肢タイプの設問ごとの内容と「ややそう思う」以上の回答率は、

設問 1「学部とは異なる大学院らしさを感じる」(87.1%)

設問 2「授業を受ける事での充実感を感じる」(87.1%)

設問 4「研究(設計・制作)活動を行っている中で充実感を感じる」(90.3%)

設問 5「研究(設計・制作)活動を遂行していく中で適切な指導を受けていると感じる」(90.3%)

設問 7「大学院での活動(授業・研究)」を行う上で充実した十分な環境がある」(67.7%)

設問 9「」大学院での授業や研究活動で得たこと、学んだこと全般を通して、またそこで得られた成果等を踏まえて、大学院に進学してよかったと感じる」(93.5%)

という状況である。

この結果、大学院に進学してよかったと 95%近くが感じており、十分な環境については 2/3 程度と若干低いものの、他の項目ではほぼ 9 割近くが、適切な指導や充実感を感じていて、大学院に対する評価は概ね好評であると言えよう。

また、記述式の設問である設問 3,6,8,10 では、学部時代とは違い、充実感を得ているとの記述が多いが、研究・設備面に対して「実験環境が不十分である」、「実験設備の導入、メンテナンスに力を入れてほしい」など改善要望が若干見受けられた。